

週刊大貴のり夫 市政ファイル No.527

日本共産党横浜市会議員大貴のり夫議会報告

発行日：2016年6月8日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



中小企業振興基本条例の立場で

中小企業の研究開発を支援せよ

横浜市第2回定例議会は3日に最終日を迎え、市長提出の一般議案33件と1件の会計予算補正、議員提案の3本の意見書を賛成多数で可決し、閉会しました。

採択に先立って、日本共産党を代表して宇佐美さやか議員が、6件の議案と3件の請願の不採択について、反対討論を行いました。



神奈川区に

新たな研究開発拠点整備

横浜市は、神奈川区の守屋・恵比須地区の市有地で、新たな研究開発拠点を整備します。日本経済研究所が横浜市の受託を受けて、どのような手法で整備するのが適切かを調査・検討しました。同研究所が市に提出した検討調査業務報告書では、研究開発拠点強化の必要性や開発予定地の概況、拠点機能の立地可能性や事業性の検討などをさまざまな角度から調査・検討し、中小企業が多く入居する案など複数の事業計画案を提案しています。

(2面に続く)

無料法律相談

7/21 (木)

予約制 (大貴)
090-5311-1879

市民の願いに背を向ける自公進

2016年第2回議会での青葉区選出議員の態度(敬称略)

受理番号	請願名	大貫・共	藤崎・進	山下・自	横山・自	行田・公	青木・ネ	中山・自
1	所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出方について	○	×	×	×	×	○	×
2	教育予算の拡充等を求める意見書の提出方について	○	○	○	○	○	○	○
3	放課後児童健全育成事業実施要綱の改善を求める意見書の提出方について	○	×	×	×	×	○	×
4	放課後児童クラブに対するICT関連機器等購入経費の補助について	○	×	×	×	×	○	×
5	横浜市の教育予算の拡充等について	○	○	○	○	○	×	○

共：日本共産党、進：横浜市民と進む会、自：自由民主党、公：公明党、ネ：神奈川ネット

市民の願いを実現してほしいと議会に請う請願。今議会に出された請願のうち、事業主の配偶者・家族が事業に従事した時の対価の支払いは必要経費に算入しないという所得税法第56条を廃止してほ

しい(請願第1号)、放課後児童クラブに国費投入するよう国に意見書を出してほしい(請願第3、4号)について、採択するよう主張した政党は日本共産党だけです。

(1面より)しかし、市は、中小企業が多く入居する案では市費がかかりすぎると、同報告書を白紙にし、事業者選定委員会を設置して、委員会に事業者の選定だけでなく、募集要項・審査基準の策定まで丸投げしようとしています。

宇佐美議員は、「横浜市中小企業振興基本条例の立場に立つならば、本当にこれでいいのか」と批

判。この事業を「横浜経済のために、中小企業の研究開発を支援・成長させるための事業と位置付け、必要な予算をしっかりと付けて、同事業を進めなければならない」と主張しました。そして、同委員会を設置する条例案は中小企業振興基本条例の精神と相反するものであり、賛成できないと述べました。

シリーズ『あおば子育て事情』(191)

外国人留学生の目

江口 寛



震度7の熊本地震から50日余、余震が続き、夜は自動車やテント、長引く避難所生活、食事はおにぎりやカップ麺、罹災証明書の発行の遅れ……行政の対応の悪さも目立ってきました。そんな中で、外国人留学生は何を感じ取ったのでしょうか。(以下は、産経新聞4/20号より)

母国では、避難所がこんなに早く立ち上がり、ましてや、おにぎりや水が配られることはありません。日本人は落ち着いている。(スマトラ島沖地震を体験したインドネシア出身の女性)

インド人のアリ・チャウダリーさん(20)は、アルバイト先のホテルから、外国人への通訳として呼び出された。そこで宿泊客の安全

を守るため、丁寧に対応する従業員や、普段は受け付け業務を行わない社長がフロントに立つ姿を目にした。自分の命を守りたいと思っているはずなのに、まずお客の命を優先している日本人に感動し、第二次世界大戦で焼け野原となった日本が復興を成し遂げた理由を調べたいと来日。今回の経験で、その答えを見つけたと感じている。

「日本は逆境に負けない国だ。その理由は、どんな問題があっても自分より他人を優先する日本人の民族性なんだ」と。

地震の激しい揺れで、体が動かなくなり、その場で固まってしまった。地震の多い国とは聞いていたが、揺れのすさまじさは想像できなかった。(インド系シンガポール人男性)



可哀想なヘビいちご

私の家の庭に放置してい空の植木鉢にヘビいちごになっていた。この可愛い実をヘビいちごと名をつけたのは誰だ！無毒なのに毒いちごとも言われている。しかし、言葉によるイメージにとらわれず、素直に見れば可愛くてきれいだ。先入観は人の目を曇らすとはよく言ったものだ。

7月10日参議院議員選挙投票日

あさか由香^{予定候補}、防衛省へ

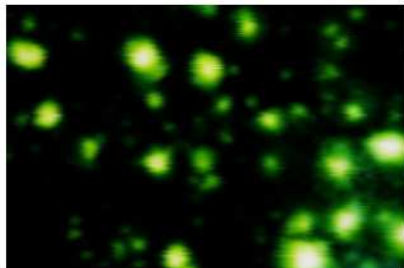
日本共産党では、7月の参議院選挙に、神奈川選挙区であさか由香さんが立候補の予定です。

あさか由香さんは5月31日、防衛省を訪れ、4月25日、29日に行われた横浜港の米軍基地ノースドックでの米軍ヘリコプターによる特殊訓練に対する抗議を行いました。比例予定候補の椎葉かずゆきさんと、かわじ民夫横浜市会議員も同席しました。(右の写真)



〈プロフィール〉

1980年横浜市鶴見区生まれ(旧姓・金谷)。森村学園高等部、筑波大学国際総合学類卒。民間企業にシステムエンジニアとして勤務後、国際輸送業に関わる。世界から貧困と紛争をなくしたいという思いで数々のボランティアに携わり、日本共産党に入党。夫と1歳・4歳の4人家族



メダカの独り言 梅雨入り。憂鬱な季節だが、実は蛍が一番みられる時期でもある。月明かりがない温かい夜は好条件。雨上がりの夜に小さな光を見に行くのも良いかも。市内でも、県立四季の森公園(緑区)、三溪園(中区)などで見られる。(K)